

【担当教員名】 石井照子	対象学年 1	対象学科 栄養
	開講時期 前期（集中）	必修・選択 選択
	単位数 1	時間数 15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

身体は限りない発熱体である。その熱を蓄積することなく放熱し、人体は恒温を維持しているのである。産熱と放熱との均衡を保つのは基本的には生理的調節に依るが、人間が厳しい地球環境に適応することができたのは、被服や住居という殻を得たからである。被服環境が人体の一部として生理的な調節の補助手段として健康にたずさわると共に、被服の着装が人間がもっている感性を表現する役目もしている。被服環境は、被服素材、設計、製作、の技術や着装方法によって影響を受けるものである。人間－被服－環境の関係をとくに健康との関わりを中心に講ずる。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法
1	衣服着用の起源・目的 何故人間は衣服を着るのだろうか		講義
2	温熱環境と人体生理 恒温を維持するための体温調節のしくみについて 1) 体温調節のメカニズム (ビデオ) 2) 汗の役割、皮膚の働き等人体の生理機能との関わりについて		講義
3	温熱環境と被服Ⅰ 衣服の快適性とは 衣服の役割について		講義
4	温熱環境と被服Ⅱ 被服の伝熱性について 1) 被服素材の種類・性質と各々の扱いについて (ビデオ) 2) 被服を通しての熱と水分の移動性 3) 各種温熱環境に適合した着衣及び着衣量		講義
5	人体生理と被服 皮膚温、衣服圧・拘束、脂肪厚と被服との関連について		講義
6	被服の安全性 特殊環境下で作業を行う労働者の生命を保護・防護する被服について考える。 (ビデオ)		講義
7	高齢者・障害者の被服 高齢者－生理学的側面からみた老化と被服 障害者－障害の部位あるいは生活サイクルを考慮して各々の環境に適合するような被服の形態、種類、材質について考える。 (ビデオ)		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する図書)	衣生活の科学	大野静枝・石井照子	健ぱく社	
参考書	快適な衣服を求めて	ワトキンス S. M	関西衣生活研究会	
	人間と気候	佐藤 方彦	中公新書	
	温熱生理学	中山照雄	理工学社	
その他の資料	プリント	OHP		

【評価方法】	【履修上の留意点】
課題によるレポート 試験 出席状況	1. 指示に従ってテキストを参照し予習、復習をすること 2. 遅刻・欠席は容易にしないように 3. レポート等の提出期日の厳守